

記入 昭和 59 年 9 月 14 日

692 理数科教師

調査者氏名 松尾 邦義 (JICA/JOCV 2=3 事務局)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン共和国	(現地公用語) Chemistry (日本語) (化学)理数科教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	60年7月	
(1) 配属先 <u>Iloilo Marcano Marcano Polytechnic State College (DMMMPSC)</u>					
① 配属先名称(現地公用語): <u>of Iloilo Marcano Mindanao</u> (日本語): <u>ドゥマラニ・マカニョ記念大学</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>上記大学の化学教室</u> 日本語名称( ) 所在地: <u>Cagayan de Oro City</u> 主要都市(2=3)か <u>1970年20万</u>					
③ 事業規模及び内容: <u>DMMMPSCでは Engineer Course (5年制), Industrial Course (2.4年制), Educational course (4年制)の全学年生に、1年毎の日語化学を履修するコースを設けていた。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>DMMMPSCの化学教師</u>					
② 技術の範囲: <u>化学全般の知識、基礎実験と指導を担う。日-加の教材(4冊)と利用した食品化学、保存化学、食品衛生、実験指導が主な仕事。</u>					
③ 業務の形態:					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記110の11名が担当する約100人の学生に代わり、現在4人の化学教師が化学授業を担当。</li> <li>・ 研究室の追加で教養科目としての化学234の科目に、実験器具の整備。</li> <li>・ (2) (3)の授業の準備、教材の作成、製品の調査、研究。</li> </ul>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>化学と関連する教師は4人。主として30代の Xavier Timin の化学専攻の先生。</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>化学実験器具は少ない。非常に数少ない化学実験室がある。教養科目としての化学 234、今後、食品化学(2) (4) の化学を履修するコース、保存化学の授業も期待される。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし</u>					
⑦ 使用する言語: <u>英語、マラタ語</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松尾邦義先生が1972年、DMMMPSCに赴任。</li> <li>・ DMMMPSCが追加で化学234の科目に、食品化学、保存化学の授業を目標として、化学専攻の申請を行った。</li> </ul>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
<p><u>理学部 食品化学科の卒業生、理学部 物理化学科の工業部応用化学科出身、実験経験2,3年。特に食品・保存・油脂化学に詳しい人。</u></p>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

7/18

記入 昭和 59 年 9 月 14 日

調査者氏名

692 理数科教師

浜田 眞一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ズレイシア (カバ)	(現地公用語) Geology (日本語) 地学(理数科教師可)	新規  (交替)	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 文部省

② 隊員勤務先名称: U. K. M., Sabah Campus. 日本語名称(国立ズレイシア大学カバ分校)  
所在地: コナキナバル市 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: 1979年に自然科学を中心とした学部として開校。  
学生数150名弱。教授・講師・事務関係職員等は、60名程度。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 仮校舎というよりも、日本の高校程度の広さ  
及び校舎があり、実習・実験器具は豊富に備っている。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 地学科講師。

② 技術の範囲: 講師として、学生に講義し、実習や実験等において  
指導助言する。一般的に地学に関する知識の他に、卒論等

③ 業務の形態: 十分に指導できるだけの知識・経験が必要。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: テacherとして大学に残っている  
カバ分校卒業生が対象となり、かなりの技術水準は持っている。

⑤ 現地で利用できる機材: 学歴は、大卒、23~24才程度。  
一通りの機材は備っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカからのコントラクター1名(教授レベル)

⑦ 使用する言語: スレー語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ボランティア、コントラクター、客員教授と入り乱れ  
ての、人容であり、お少、人手不足解消の一策と言えなくもないが  
この中で、おくの隊員が配属になっており、テキスト作成他  
大学に貢献してきており、期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大学院卒業以上

※ 事務局記入

465

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 6 日

調査者氏名

692 理数科教師

中原 正寿

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニール王国	(現地公用語) Mathematics, Science (日本語) 理数科教師	新規 交替	(男) 10 人 (女) 理科 6 人 数学 4 人 (男女不問)	60 年 7 月 1 日	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education and Culture (日本語): 教育文化省					
② 隊員勤務先名称: Secondary School 日本語名称 ( 高専学校 ) 所在地: ジンバブウェ、ズンバト、ジンバブウェ、ジンバブウェ、主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: マジック、ジバブウェ、ジンバブウェ、 1971 年より新学制度で 10 年教育を基本とし生徒皆卒業 S.L.C (School Leaving Certificate) を経て合格した者が 高専学校、Secondary School 14 校、8 年 10 年を卒業する					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 皆然に等しい。地域に依り、山南郡、町村に依り異なる。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 高専学校教師 (理科もしくは数学)					
② 技術の範囲: 理科 - 理科全般 数学 - 数学					
③ 業務の形態: 1. 学期 (夏期) と冬期 (冬期) に依り 授業の開始時間が地域に依り異なる 2. 授業は、45 ~ 50 分で 6 時間、理科科で全日 270 分の約 1/4 程度					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒の年齢は 14 ~ 16 才。カウンターパートとして 学校の他 理科教師が 1 人存在するが、限定は無い					
⑤ 現地で利用できる機材: 船とバス					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 他国からの入と報告したいが、現況は各県に依り異なるが、概ね平均的					
⑦ 使用する言語: ニール語 英語が通じる					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ニール人理科教師が、従行的に不足している。近年、協力隊理科教師に行き 着いた高専におき、要請が増えている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学理科系 (教員養成専攻課程等) ○ 専任経験 1 年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

718

記入 昭和 59 年 3 月 10 日

調査者氏名

692 理数科教師

小松 純司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Mathematics Science (日本語) 理数科教師(理.数)	新規 交替	(男) 28人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 4月 7	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (Regional Directorate of Education) (日本語): 文部省 (地方教育委員会(副教育事務部))					
② 隊員勤務先名称: Secondary school 日本語名称(高等学校)					
所在地: テラシ地方を除く山岡部(予定) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 1971年度から新学校教育制度で10ヶ教育を基本とし、全課程終了後 S.L.C. (School Leave Certificate) 試験に合格した者が寮門校大学へ進学する。Secondary school はテラシ地方8~10ヶの生徒を収容する。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 設備は中程度の質に等しい。地域におて山岡部。君. W. 村におて十分な設備がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 高等学校教師(数学又は理科)					
② 技術の範囲: 数学担当: 数学全般の授業を担当 理科担当: 理科全般の授業を担当					
③ 業務の形態: 毎朝は教室の授業を行うが、午後の空いた時間に音楽教室の授業は45~50分授業で6時間。理科科は全4ヶ校のうち4ヶを占める。本要請は man power の補充である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは生徒の年齢は14~16才。女性生徒は16%である。					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんどなし。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 米岡平和部隊、英岡ボランティア?					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ネパール人理数科教師の不足により、従来は米、英のボランティアを入れたものの、自国職員(初代担任)の経験の浅さで、その後次第に必要量の増えを来している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大学理数科卒(教員養成課程を含む) 教職経験1年以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1731

記入 昭和 59 年 9 月 15 日

調査者氏名 熊野秀一

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) SCIENCE TEACHER	新規	(男) 人	60年11月	
	(日本語) 理数科教師	交替	(女) 人		
			(男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology					
(日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称: Kakuyuni Secondary School 日本語名称(カクユニ中学校)					
所在地: P.O. Mbusyani, Kangundo, Machakos 主要都市(ナイロビ)から 80 キロ					
③ 事業規模及び内容: Harambee (部落立) の中学校であり、現在 4 学年					
各 1 クラスづつあり、全校生徒 84 名。寮はよく全員通学の共学校で Harambee School の中でも小さい方に属する。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 4 教室と実験室が 1、そして職員室がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 数学・物理・化学・生物および時には体育の授業を担当する。					
③ 業務の形態: 授業を行う。課外活動についてはやらなくて済むと思えばそれで済むし、運動文化的な面とも何かをやらうと思えばある程度自由に行うことができる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者 - 中学生					
年齢は 14.5 才から 23.4 才位までかなりのばらつきがある。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアには約 1000 校のハランベエ(部落立)の中学校があるが、教師が不足しているため、又実際に過去に派遣された日本の理数科教師隊員の活躍が評価されて要請された。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
学歴 大卒程度 資格 経験は なくとも特に問題はないと思う					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

斤32

記入 昭和 59 年 8 月 日

調査者氏名 熊野秀一

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニ3	(現地公用語) Science teacher	新規	(男) 人	60年11月	
	(日本語) 理数科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education Science and Technology					
(日本語): 教育科学技術庁					
② 隊員勤務先名称: Tartar Sec. School 日本語名称(タタル中学校)					
所在地: P.O.Box 169 Kapenguria 主要都市(キタレ)から 35 キロ					
③ 事業規模及び内容: Form I, II は 2(21) - 4, III, IV は 各 1(2) 2 まで生徒数約 250 人 ムランバ(地区II) 学校。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室 6 室, スタッフル 1 室					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 理数科教師					
② 技術の範囲: 中学校 1 年 ~ 高校 2 年程度					
③ 業務の形態: 教室型授業					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 小学校卒業者, 14 ~ 22 才程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 黒板, 簡単な実験器具					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
若い学校なので, 教師の出入りも激しい。数学だけでなく, 理科も教えられ方がよい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
高校 2 年程度までの数学, 理科を教えらるる人。					
※ 事務局記入					

469

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

133

記入 昭和 59 年 8 月 19 日

調査者氏名 熊野 秀一

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	60年11月	
	(日本語) 理数科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology (日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称: Taita Towett Sec. School 日本語名称(タイト・トウェット 中学校) 所在地: P.O. Box 33, Kipkelion 主要都市(ケリチョー)から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: Government stream 1 クラス (国立のクラス) 4 学年 Harambee stream 1 クラス (地区立のクラス) 4 学年 1年~4年 まで 計 2 クラス 生徒数 350。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 校舎(8教室, スタッフ・ルーム), 実験室(未完成)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 科学担当教師					
② 技術の範囲: 日本の中学校1年から高校2年程度					
③ 業務の形態: 教室型授業					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Primary School (小学校) 卒業者 年齢 14 ~ 22					
⑤ 現地で利用できる機材: 黒板					
⑥ 第3国人等の配置状況: 今のところ 配置されていない					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアにおいては 慢性的な 理数科教師 不足が 問題になっており 特に 物理・数学を しっかり 教えられる ケニア人教師は 少ない。その不足を 弥补するため と、正しい 理論					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴、実務経験 特に 必要なし。 数学、物理、化学、生物 のうち 少なくとも 2 教科以上 教えられること (できれば物理) バスケット・ボール・バレーボール・サッカー・陸上の 1つはかいつ 指導 できること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

434

記入 昭和 59 年 9 月 11 日

調査者氏名 熊野秀一

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Education (日本語) 理数科教師	新規 交替	(男) 1人 (女) 6人 (男女不問) 6人	60年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology (日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称: 今後上記省と詳細打合せ決定 所在地: / 日本語名称(村立中学校) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 上記のとおり決定後に調査予定					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 同上					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 数学、物理、化学、生物および時には体育の授業を担当する。					
③ 業務の形態: 日本の教師と同じ。ただし学校は殆んどが水道・電気のない僻地にある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は小学校卒業生、年齢14~20程度 通訳カウンターパートはない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 殆んどの場合はない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 例外を除いてない。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアには約1000校のハンゲー(村立)中学校があるが、教師が不足しているため、又實際の過去に派遣された日本の理数科教師隊員の活躍が評価されて要請された。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒業以上、精神的にタフでケニア人がケニア人を理解でき、ケニアの生活にとりこめる人。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

39

記入 昭和59年2月29日

調査者氏名 小瀬川 修

692 理数科教師



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) Science Education (日本語) 理数科教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	数学 1人	
(1) 配属先 (Dept. of General Education and Culture)					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of General Education and Culture (日本語): 一般教育・文化省、一般教育・文化局					
② 隊員勤務先名称: 地方の Secondary School (北西部) (日本語名称: ) 所在地: 州、ルプコラ州の可能性大) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: ガンビアの中等教育制度は Primary School (Grade 1~7), Secondary School (Form I~V) からなっている。更にその上には高等教育省・管轄する大学4年あるいは専門学校3年、職業訓練校2年がある。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 理数科教師					
② 技術の範囲: 日本の高校2、3年生に教授できる程度					
③ 業務の形態: Secondary School の Form III と V のクラスをもつ。授業は物論のこと、現行カリキュラムの改善、現地で入手可能な材料から各種教材、実験器具を作製することにも従事する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 16~19才程度の学生で、1クラス現在 30~40人程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: 実験室はほとんど整備されていない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 学校によっては、インド人、スリランカ人、ロシヤ人、イギリス人の					
⑦ 使用する言語: 教師がいる 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在ガンビアには Secondary School で教える数学教師が外国人も含めて322名、物理教師が128名、化学教師が135名、生物教師が141名しかおられない。また Form III のクラスは全国で305、Form V のクラスは302しか開設されていない。ガンビアの発展にとって教師不足、クラス不足は大なる弊害となっている。かかる状況下 JOCV に支援を求めたものであり、ザ国側の期待は極めて大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
1. 英語で授業ができること。この点については受入側の担当者から何度も					
2. 教職経験があるとよい。念を押された。					
③. 大卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 11 月 9 日

調査者氏名 金山昌功

8/8 (水)

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) SCIENCE EDUCATION (日本語) 物理教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 3人	60年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION EDUCATION SERVICE					
(日本語): 教育省 教務局					
② 隊員勤務先名称: SECONDARY SCHOOLS 日本語名称( )					
所在地: 全国各地(配属校は着任後決定) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 1校1名(男子校、女子校、男女共学有り)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 学校により異なる様に設備は貧弱。電気水道についても有るところも無いところもある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: SCIENCE TEACHER					
② 技術の範囲: 物理の教師として求められるだけの知識と教授法を身につけていること。					
③ 業務の形態: ガーナ人教師と共に自分のクラスを受け持ち週20~25時間物理を担当することになる。待遇は同僚教師と同様。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ、ピンスコ、イギリス等と同じ学校に配属されることある。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
教員不足に悩まされている当国の理数科教育の維持及び隊員の教育に対する取り組み振りが、他教師、生徒に及ぼす好影響を期待。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 大卒 教員免許取得者を希望 教師経験者であれば文句なし。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 7 月 19 日

調査者氏名

大塚正明 / 小林伸吉

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Science Teacher (日本語) 理数科教師	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: Gbarma Central School 日本語名称(バーマ中央学校) 所在地: Gbarma Statutory District, Lofa County 主要都市(モロボ)から100キロ					
③ 事業規模及び内容: 全校生徒204人でバーマ州唯一の学校。生徒数内訳は ABC 46人 フォーマ29人(15歳幼稚園) 小学生99人、中学生30人 1クラス8~30人程度の小教クラス					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 校舎には6部屋あり、全教室として使用しているが、部屋内 は衝立てで仕切られ、合併クラスにして、2学年が一部屋を使用している					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 小中学校で、理科、数学を教えるが、日本と比べ全般的に レベルが低く、基礎的事柄を解りやすく説明できる能力が必要					
③ 業務の形態: 授業時間は8時15分から2時30分まで。教師は8時0分に出勤する。 月曜から木曜まで日平常授業で金曜は時片労働の日(休日仕事)に少し仕事 があるが、片労働の日日平常授業を行う。土日は休日。教師は一人平均 一日4~5時間(1時間限は45分)受け持っている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒の年齢幅は大きく、中学校には 20才ぐらいの生徒もいる。同クラスが同年齢とは限らない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 理科での実験用器具: ビーカー、アルミランプ、メスシリンダー、 フラスコ、カミヤ、顕微鏡など					
⑥ 第3国人等の配置状況: ガーナ シエラレオネ人教師数名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 協力隊の援助により、職員室、事務室、教室を増設して あり、小エバ州だけに協力隊に対する期待がある。今後中学から高校 への昇格も考えられており、未来には高校でも教えられる教師を望んでいる。アフリカ 奥地の子供達に住民に新しい活力を与えたいという行動力のある教師が 期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 小学校で教えられるだけの英語力が必要。大学卒業 できれば尚良い。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 59 年 7 月 19 日

調査者氏名 鈴木康次郎

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Mathematics-Science Teacher (日本語) 理数科教師	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 1 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: Kakata Rural Teacher Training Institute 日本語名称(カカタ教員養成学校) 所在地: Kakata, Gibi Territory, Liberia 主要都市(モンロビア)から約70キロ					
③ 事業規模及び内容: 高校卒業生を対象とした2年間のジニアカレッジ、中学校課程の理数系、人文系、並びに、小学校課程の3コースからなる。学生数は、フレッシュマン約60名、シニアスチューデント約120名。教員約20名、教員以外の職員約20名である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室、実験室(理科、工作、農業、その他)、音楽室、教職員用オース、図書室、学生寮(男女)、食堂、学生会館、付属小中学校、その他。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 数学教師					
② 技術の範囲: 日本の高校1~2年程度(微積分は含まない)の数学を教えられる能力があること。さらに、できれば、いかにも数学を教えるかという点を教えられる方がよい。					
③ 業務の形態: 数学は、理数系週6時間、人文系週2時間、小学校課程週3時間であり、2人の教員がフレッシュマンとシニアスチューデントを受け持つので、1人週計12~14時間ぐらいの授業である。2nd Semester は、シニアスチューデントが、教育実習に出かけるため、授業は、フレッシュマンだけとなる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生は、高校を卒業しており、年齢は、22~25才ぐらいまで、ばらばらしている。同様に、教員も、日本の中学低学年から、高校低学年ぐらいまで、ばらばらしている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 黒板、チョーク。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 約20名の教員のうち、7割は、外国人(ガーナ、インド、パキスタン、日本、その他)である。					
⑦ 使用する言語: 英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: リベリアは、理数系の良い教員に恵まれず、質の高い教員を期待している。修士課程を終了し、教員経験がある方が当然良いと考えられている。教員養成学校であり、できれば、単に数学を教えるだけでなく、いかにも数学を教えるかを教えられることも望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) ① 大学を卒業していること(できれば修士卒) 2. 英語が話せること 3. 年齢が25才以上であること 4. 教員免許を持っていること 5. 適応力があり、協調性があること 6. 温厚であること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和59年9月6日

調査者氏名

692 理数科教師

大塚正明 / 木村一史

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 1人	60年7月	
	(日本語) 理数科教師	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: Basa High School 日本語名称(バサ高等学校)  
所在地: P.O. Box 38, Buchanan, Grand Basa County 主要都市(エボロ)から100キロ

③ 事業規模及び内容: フリタ市には高校は5つ程あるが唯一の公立高校がBasa High Schoolで7年並から12年生(High School)の中、高校の併合)で約500人の生徒がいる。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室、化学、物理実験室、図書館、講堂設備、  
リベリアでは設備が行き届いた学校のひとつである。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 理科教師

② 技術の範囲: 理科教育(生物、物理、化学)と中学、高校並を対象に行える。

③ 業務の形態: バサ高校に於いて昼間部、夜間部の両方で理科教師として従事する。  
化学を主に担当し、化学実験室の管理を任され、実験器具の整理も大抵業務となる。週一度、近辺の理数科教師(リベリア人)の指導も現在行っている。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 教員養成所出身の教員

⑤ 現地で利用できる機材: スライドプロジェクター、オーバードプロジェクター(JOCV提供)  
各種実験器具

⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ人3名(ビエゴ)

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当高校の理数科教師はアメリカ Peace Corp と JOCV 隊員がいて、リベリア人教師は、大抵英語、社会を教えている。理科系にリベリア人は弱く、特に実験にはあまり知識がない。故に、実験を多く取り入れ、今生徒達の教師になる頃には、優秀な教師と見られ、期待されている。現地人教師への指導も成果はあっている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和56年 4月 8日

↑ 692 理数科教師

調査者氏名 仲井儀英

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) HIGH SCHOOL TEACHER	(男) 1 (女) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月
	(日本語) 理数科教師	(どちらでも可) 人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION  
(日本語): 教育省
- ロ. 隊員勤務先名称: } 地方都市の高校 (日本語名称 ( ) )  
所在地: } 主要都市からの距離 ( より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 300~1000名 日本の中学と高校が一緒となつた HIGH SCHOOL 6年制となっている。教育シラバス及教科書に一貫性がなく、これから次第に整理しようとしている。
- ニ. 設備概要: 教育制度が形だけであつたことから、リーダー級教育に対する重視政策がとられておるが、設備は極めて不備、学校によって大分異なる。

(2) 隊員の業務内容: リベリアにおける教育は、日本での明治維新的のものと考えられる。かつての教育制度の不満足は、その際リベリア人のための教育から疎外されていたと見える。教師の資も乏しく形だけの教育内容に留まっていた。従って教育の情熱と燃やす人材が期待される。

1. 隊員の業務上の地位は: 学校教師
2. 技術の範囲: 教材と創意工夫、自から探求する姿勢と、電気、機械などに日多の経験があると応用の機会が多い。
3. 業務の形態: 授業時間 40分~45分 午前8時~4時、週25時間程度
4. 対象者: 97 (中学1年生)~99 Junior class  
910~912 Senior class 隊員のカラに依り  
選択すればよい。
5. 現地調査状況: 教育内容に応じて、現地調査するのが望ましい。
6. 希望する外国人の配置: カーナ、ナジエヤ等近隣諸国及ピアスコエ  
受入れている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
教育に力を入れ始めだが、教師不足、特に理数科教師は  
現地人で得られない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
理数科大卒。(工学系もよい) 教師(家庭、熱心でもよい)の経験  
があればよい。地方の生活条件厳しい所に配属と相子のため、神を  
信じてほしい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニジェール	(現地公用語) Professeur de Mathématiques (日本語) 理数科教師	規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 各1人	59年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère de l'Education Nationale (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: Lycées ou Ecoles Normales 日本語名称(高校か師範学校) 所在地: 未定 主要都市( )から キロ					
事業規模及び内容: 各主要都市に5つのバカロワ準備校、5つの師範学校、4つの高校がある					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室と2つのコートのある運動場の学校が多い。実験室はあまりなく、設備は概して自給である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 高校生か、将来教師になる学生に数学か物理あるいは一般教養を教授する					
③ 業務の形態: 週10名前後の授業を担当する。1クラスだいたい40名 10月より新学期が始まり、7月上旬に終わる。7月中旬~9月まで 夏休み、他に冬休み1週間程度、春休み2週間程度。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高校生 18才~23才位 師範学校の学生 22才~24才位					
⑤ 現地で利用できる機材: 教授に必要な資料一式					
⑥ 第3国人等の配置状況: フランス人、アメリカ人、エジプト人、カメルーン人、英国人					
⑦ 使用する言語: 仏語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ニジェールは教育を重点において国家開発を目標として いる。しかしながらフランス本国に相当数の教育者、技術者を依存している のが現状である。早くも早い時期に完全なニジェール化を目標として、推 進している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 最低大学以上、(仏語の読み書き、会話が卓越していること)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

h-17

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

調査者氏名 河西 詠子

赤星 則昭

692 理数科教師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス国	(現地公用語) Ciencias Naturales	新規	(男) 人	60年9月	
	(日本語) 理科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Educación Publica  
(日本語): ホンデュラス国文部省
- ② 隊員勤務先名称: Dirección General de Educación Media 日本語名称(中等教育局)  
所在地: コマヤグエラ 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 文部省内には約600人の職員が働いている。中等教育局では97人の職員がいる。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 中学校の理科の先生のアドバイザー
- ② 技術の範囲: 全国約350校の中学校の理科の先生に対する講習
- ③ 業務の形態: 全国の先生に対する講習。月曜から金曜までで約40時間。この国の教育課程を把握した上で、それにあった実験教材についての研究会、各分野についての知識を深める(基礎を確認する)勉強会といった形の講習会になると思われている。おもに物理の分野を担当する。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は全国の理科(中学校中心)の先生。
- ⑤ 現地で利用できる機材: Inst. Jesus Milla Selva(イステテートヘスミカセルバ)の理科の実験書は、この国の教育課程にそってとられているもので、講習会をする時に、内容を知らずには非常に有効。授業
- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし
- ⑦ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: すでに理科の講習会は各地で行なわれている。先生たちはたいへん熱心にその講習を受けており、必要性も感じている。内容は"すぐ教室で使えるもの"が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 中学校の理科の先生の経験を持つ人  
普通自動車運転経験1年以上。

※ 事務局記入



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

h-18

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

692 理数科教師

調査者氏名 新 昌弘  
赤 翠 則 昭

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
本邦人国	(現地公用語) MATEMATICAS	新規	(男) 人	60年9月	
	(日本語) 数学教師	交替	(女) 人		
			(男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA					
(日本語): 本邦人国 文部省					
② 隊員勤務先名称: Direccion General de Educacion Media 日本語名称(中等教育局)					
所在地: J272727 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 文部省内では約600人の職員が働いて、中等教育局 合計では97人の職員がいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 大学又は高等師範学校出の指導官のアシスタント					
② 技術の範囲: 全国約350校の中学校の数学担当教師への指導、講習 を行う。					
③ 業務の形態: 全国の中学校の数学教師を対象に講習を実施。月お り全曜日約40時間の内容。当然、地方の集の先生達へは、こ らから出張して講習を行う。(約11週: 一般階レベル) また、現地に適合した教材の開発は必要であり、創意工夫は隊員次第とす。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 全国の数学教師(専門的 な勉強(20教師は教+%)					
⑤ 現地で利用できる機材: 持参の教材、自分の指導用には既程用意 意してある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今後無計画で実施される講習の長期 計画の1つ段階として、更に現地の先生達に講習の経験は 十分のこの局側の期待は大いである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 中学校以上の数学教師としての経験 が2年以上、② 普通自動車運転経験1年以上。 ○は絶対条件。					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 3 月 13 日

693 小学校教諭

調査者氏名 斎藤亮寿 (児童理科教師)

受入希望園名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
T2 = シア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Promoteur des activités scientifiques (日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	児童理科教師	(どちらでも可) 多人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

### (1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Service des club enfants, Direction de l'enfance, Ministère de la Jeunesse et des Sports.  
 (日本語): 青年T.V.ニツ省, 少年局, 少年クラブ課

2. 隊員勤務先名称: Club enfants (日本語名称 (少年クラブ))  
 所在地: T2 = シア近郊 及び 地方 (主要都市からの距離 (より #0))

3. 事業規模及び内容: 青年T.V.ニツ省が管轄する少年クラブは、教育省管轄の学校教育を補足する形で存在している。757 号は 6-14 歳の子供を対象として、その子供達に押し込められた数名の教師連が配属されている。757 号の主な活動は、絵、歌、劇、音楽、スポーツ等である。それに加え、現在私的簡単な理科実験、科学工作を行っている。

4. 設備概要: 757 号の主な設備は、木工具、簡単な電気器具、及び絵、道具、体育用具等である。これは前任者が持ち込んだ理科実験器具 (C-70-7523...) がある。757 号の規模は 20 名程度である。戶外遊び等。

### (2) 隊員の業務内容

5. 主要業務: 757 号は「科学の自覚」を推進し、前任者の経験と知識を継承する。特に当プロジェクトの主要な活動は「自然」、「電気」、「視聴覚」の 3 つの自然部門を担当している。

6. 技術分野: 当隊員が担う範囲は「電気」、「視聴覚」を除く科学分野は如何にせよ、20 歳以下の子供達に教えることは難しい。例えば、化学、生物、物理、天体... などは子供達に教えることは難しい。科学工作、科学遊び... などは当隊員には、単に知識を伝授するだけでなく、幅広い応用力と工作力とが要求される。

7. 業務形態: 日々の業務は大きく 2 つに分けられる。1 つは教師連に押し込められた再教師である。T2 = シアの教師連は、それら科学活動に押し込められた教育を受けて来た。従って、彼等には押し込められた活動は当隊員に課せられた課題に押し込められている。具体的には 757 号の活動その他、教師連に押し込められた研修会等、技術分野の転移等である。このことは、直接子供達に押し込められた活動である。少年 757 号は学校教育ではなく、自由参加の 757 号である。従って子供達の「自覚」を無視した活動は意味が薄い。子供達を引きつけるための教師連自身も再教師として再教育を受ける必要がある。

8. 現在の進捗状況: 1982 年 10 月以降、佐賀県、佐賀市から「自然」部門は出発して現在私若くは教師連に押し込められた理科実験及び科学工作、技術分野の転移等を行っている。それら... 充分とは言えないが、彼等の科学教育に押し込められた自覚の着実に高まっている。この結果、当隊員には押し込められた技術分野の転移が期待されている。

9. 言語: 教師連はフランス語を話す。問題は、757 号の子供達は全てフランス語を充分に話さない。かと言ってフランス語の勉強は必須である。特に、その程度は、フランス語が話せる。

### (3) 受入希望の背景と受入国の期待

10. 地理的条件: T2 = シアは西欧の先進国文化圏と接する機会が多い。その為、国の指導者と一般市民の格差が自覚の上にも、物理的にも存在している。その為、教育に押し込められた例外的にはない。初等教育段階で、特に理科教育に押し込められた例外的にはない。その為、理科教育に押し込められた例外的にはない。少年 757 号は、理科教育を行おうとしている。T2 = シアの指導者に押し込められた例外的にはない。

### (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

11. 理科教師としての経験 (2 年以上) を持つ。教育に関心を持ち、特に科学工作、科学遊び等を行う経験 (2 年以上) を有する人。

12. 隊員が行おうとする活動は科学分野に押し込められた例外的にはない。一般工作その他、絵、歌、劇等と共通の課外活動を指導出来ること望ましい。T2 = シアの分野に押し込められた新しい活動と押し込められた例外的にはない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

RV 19

記入 昭和 59 年 9 月 14 日

701 体 育

調査者氏名 鈴木規子  
(寺原裕明)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Physical Education (日本語) 体 育	新規 <u>交替</u>	(男) 人 (女) 1 人 (男女不問) 人	60/1 60年7月	
(1) 配 属 先					
① 配属先名称(現地公用語): Kementerian Pelajaran Malaysia (日本語): マレーシア文部省					
② 隊員勤務先名称: Maktab Perguruan Sultan Abdul Halim 日本語名称(カラン・ハリム教員養成大学) 所在地: Jalan Kuala Ketil, Sg. Petani, Kedah 主要都市(シカガ・7・72)から 5 キロ					
③ 事業規模及び内容: 3年制の小・中学校教員養成大学で、学生数は760名 (男350名, 女410名), 教員数67名, 職員数は94名である。保健体育 と含み一般教職課程が教えられている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 体育館, 400mトラック, バル・ホール・バスケットボール・テニスコート, ハンドボールコート, 講堂, 図書館, 教室棟, ランニング・ラボ, 学生寮等と有する。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 保健体育科教員					
② 技術の範囲: 一般教職課程の中の教科として、保健体育の理論及び体操、球技、陸上競技 等の実技が含まれる。隊員はこれらの実技を生徒に指導する。特に器械体操を中心					
③ 業務の形態: に バル・ホール、バスケットボールを指導してはいる。理論と指導する必要は 特にない。又併せて野外レクリエーションの指導も期待されている。 授業時間は 08:00~13:00, 14:30~16:30, クラブ活動が 17:30~19:00 とな っており、週12時間の実技授業を担当するとともに、クラブ活動(週2時間)とも指導 する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 指導対象学生は19~28才、日本 の大学生とほぼ同じと考えられる。同僚教員は男性3人、女性2人、年齢は35~45才。					
⑤ 現地で利用できる機材: 球技用具一式、跳箱、マット、鉄棒、平行棒、陸上競技用具、 簡単なウェイト・トレーニング用具					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語 (英語とある程度必要)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 途上国はとくに同じように、当国では小・中学校 の体育の授業は系統立てて行なわれていない。しかしながらその重要性は認識されつつ あり、将来小・中学校教員となる学生達に系統的、段階的に体育を指導すること が隊員に期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>大学体育学部(科)卒</u> , <u>(高校)保健体育科教員免許</u> , 器械体操を 専攻した人が望ましい。 <u>体育教員経験3~4年以上</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

18/16

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

701 体 育

調査者氏名 佐々木 健一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Bangladesh	(現地公用語) Physical Education	新規	(男) 人	60年 8月	
	(日本語) 体育	交替	(女) .2 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kumudini Welfare Trust of Bengal					
(日本語): ベンガル・クムデニ福祉財団					
② 隊員勤務先名称: Bhakateswari Homes 日本語名称(ブラテスワリ学園)					
所在地: Mirzapur, Tangail 主要都市(タングラ)から 70キロ					
③ 事業規模及び内容:					
孤児及び低所得家庭の子女を対象とした全寮制の女子学園。学級は小学校					
高学年から高校まで。生徒数1,050名 教師数90名。又同所にベッド数700の無料					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 病院を別途運営。					
校舎(教室 職員室等) 寮(居室 食堂等)、校庭、農場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 体育全般(小中学生用)					
体操、マスケム、他の一般的スポーツ					
③ 業務の形態:					
約10才から18才までの女子生徒を対象に一般的体育教育及びゲーム指導					
を行なう。					
将来、体育教師(カウンターパート)の指導育成を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令:					
カウンターパートとなる教師はなし。将来確保予定					
⑥ 現地で利用できる機材:					
校庭以外特になし。					
隊員が指導しながら、器具の作製又は購入を行なう。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 病院にオーストラリア人の婦人ボランティア1名					
⑦ 使用する言語: ベンガル語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
同校は恵まれぬ家庭の子女の益々自閉団体による学園であり、施設も良く教育程					
度も高いが、まだ女性の地位の低い国情もあって女性の体育教師がいない。しかし、					
校長を始め、クムデニ財団の事務長等トップは、幼少年期の体育教育の必要性を強く					
認識しており、隊員に対する期待は非常に高く、一日も早い着任を待っている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○短大卒以上、体育学部卒					
出来れば 体育教師の経験 2~3年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 10 日

701 体 育

調査者氏名 山本昭夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モルディブ	(現地公用語) PHYSICAL EDUCATION (日本語) 体育	新X歳 交替	(男) 01 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: MINISTRY OF EDUCATION 日本語名称(教育省)					
所在地: MALE, MALDIVES 主要都市(マレー)から キロ					
③ 事業規模及び内容: マレーに於けるアミア・マリアの公立学校, 私立学校 数校の学生を中心に体育の課外活動を推進している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 体育指導教官					
② 技術の範囲: 初歩的は指導から, 一般的体育に関する全てを教える こととなる。					
③ 業務の形態: 教育省担当者と同様スケジュールを作成し, それをもとに, 対象となる 学生(10~18才くらい)に課外活動としての体育を指導する。 又警察隊に於ける体育向上訓練にも係ることとなる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 特になし。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語,  Divehi 語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: モルディブは途上国の中でも教育において特に遅れていると云える。 しかし, 体育の必要性, 重要性についての一般的知識はまだ普及して いないし, 体育の必要性が認められつつあるの, 教える人材がいない。 この中で, 体育を楽しむための活動することの指導が求められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 体育学部卒。 教員免許。					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

701 体 育

記入昭和 59 年 9 月 5 日

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
コスタリカ	(現地公用語) ENTRENAMIENTO FISICO con PESAS	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ウェイト・トレーニング	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
<b>(1) 配 属 先</b>			
イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de CULTURA, JUVENTUD y DEPORTES			
(日本語): 文化青年スポーツ省			
ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION GENERAL de EDUCACION FISICA (日本語名称 (体育スポーツ局))			
所在地: サンホセ Y DEPORTES 主要都市からの距離 (より〜キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 1. 青少年の健全育成			
2. 体育スポーツの地方普及支援			
3. 各種競技のレベル向上			
ニ. 設備概要: 4. 団体の企画運営			
<b>(2) 隊員の業務内容:</b>			
① 業務上の地位: 技術部所属指導員			
② 技術の範囲: 筋力トレーニングに関する理論と実践 種目別筋力トレーニングのプログラム作成			
③ 業務の形態: 教室型 (コスタリカ大学, ナショナル大学の体育学専攻の学生に 対する講義) 巡回指導型 (競技団体ごと講習会実施)			
④ 指導対象: 各種競技愛好者からナショナルチームまで多岐に渡る 体育学専攻学生			
⑤ 機材: 国立や2体育館内にはバーベルセット, エンバーサルジム等あり 必要に応じて3ホロエクサイカー他も揃えられる。			
⑥ 外国人: 無			
⑦ 言語: 西語			
<b>(3) 受入希望の背景と受入国の期待:</b>			
未開拓の分野があること。隊員派遣への期待大である。			
<b>(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):</b>			
体育大学(学部・学科)卒を指導経験も有る者希望。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

h-10

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

701 体 育

調査者氏名 赤塚 則昭  
山本 建生 (孝の父)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
本邦返国	(現地公用語) Educación Física (日本語) 体育教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	60年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA (日本語): 本邦返国 文部省					
② 隊員勤務先名称: Dirección General de Educación Física 日本語名称(体育局) 所在地: サンパウロ 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 文部省の約600人の職員が働いて、体育局は5分科組織で活動している。6人の指導官が約10数人の助手(コ-フ)の仕事をこなしている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 高等師範学校(教員大)卒の指導官へのアドバイザー					
② 技術の範囲: 全国約350校の中学校の <del>指導</del> 担当教師への指導・講習。					
③ 業務の形態: 全国の中学校の体育教師を対象に講習を実施する。月曜から金曜日の16時間の内容。当然、地方へ出張して講習を(約11週)行う。現地に合った教材の開発も期待されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 中学の体育教師(対象)。 専門的な勉強(指導)は数%の教師である。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特にお金がかからない。自分の指導用としてある程度教材・機材は準備している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今後5年計画で実施される講習が、長期計画の推進の一環として実施されること。現場教師の期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 中学校での体育教師としての経験が2年以上 ② 普通自動車運転経験1年以上。 ○は絶対条件。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

a-24

701 体 育

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

調査者氏名

調査責任者 赤星 剛 昭 日 正 也

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Profesor de Educación Física (日本語) 体育教師	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 9 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Universidad Nacional Autónoma de Honduras (日本語): 国立ホンデュラス大学					
② 隊員勤務先名称: Departamento de Educación Física 日本語名称 教養学部 体育科 所在地: テグシカルパ 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: ホンデュラス唯一の総合大学で、全日・夜間部を合わせると1万4千人以上の学生が学んでいる。体育科は一般教養課程と並行して15種目のスポーツの授業を遠隔制で行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): バスケコート(セクト) (2) バレーコート(セクト) (1) サッカーコート (1) ヲテボールグラウンド (1)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 体育科教師 兼 男子バレーボールチームのコーチ					
② 技術の範囲: 体育を専攻した学生に対する各スポーツの技術・理論指導及び男子バレーボールチーム(男女)のコーチ可能					
③ 業務の形態: 時間割 7:00 AM ~ 6:00 PM (月曜日 ~ 金曜日) の体育スポーツの授業を行う。バレーボールチーム(男子・女子)のコーチングを行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高等師範学校卒のスポーツの知識がある者が専門的・科学的知識に乏しく教授法が不明					
⑤ 現地で利用できる機材: バレーボール 体操機具 etc					
⑥ 第3国人等の配置状況: テグシカルパに存在するドイツ人教師					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 体育科は現在大学の教養学部で選振科目として存在しているが、将来は体育学部の設置を目標にしている。また競技スポーツの強化も期待されている。体育教育の技術水準の高さが国の期待を要請している点がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 体育大学附 教育学部・特体を卒業、体育教育教員免許の取得が絶対条件。学生時代にバレーボール部で活躍している180cm(身長)以上の選手が、有資格者が望ましい。体育教育全般の知識が必要					

※事務局記入



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

No. 110 又31  
No. 111

710 陸上競技

記入 昭和 59 年 3 月 19 日

調査者氏名 卷子 美

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Athletics	新規	(男) 人	59年 月	
	(日本語) アスレチック	交替	(女) 人 (男女不問) 2人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: } 不明. いずみせよ学校					
所在地: } 日本語名称( )					
主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員					
② 技術の範囲: 該当分野に於ける生徒指導技術のみならず、教員教育を実施する能力。					
③ 業務の形態: 現職教員に対する ON THE JOB TRAINING 及び休暇中の集中実技講習及び生徒指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不明. 有。					
⑤ 現地で利用できる機材: 有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 教育省からは VSO, P.C の外専任教員数(含む日本)					
⑦ 使用する言語: 英語, シンハラ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大臣プロブレムとして学校教育への体育取入れが推められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 教員資格					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 3 月 16 日

710 陸上競技

調査者氏名 木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
シリア アラブ共和国	(現地公用語) <b>ATHLETICS (Track &amp; Field)</b> (日本語) <b>陸上競技(教員)</b>	新規 交替	(男) 2人 (女) 人 (男女不問) 人	59年3月 以降、早、時期	
(1) 配属先 Ministry of Education					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Physical Education (日本語): 教育省・体育局					
② 隊員勤務先名称: Institute of Physical Education 日本語名称 (国立体育師範学校) 所在地: ダマスカス・アレクソ・ラタキヤ・ホムス・ハマ・デリゾール 主要都市 (ダマスカス) から約 60 キロ					
③ 事業規模及び内容: 国立体育師範学校は1969年にダマスカスに開設され、現在各主要都市に計5校開設されている。一部女子体育師範学校も併設されている。生徒数、教員数、施設等は各校により多少の差があるが、概ね生徒数60~300名(1年級のみ)程度、2年級(合計)教員数10~20名、事務職員15~25名、小・中学校等の中間レベルの体育教師の養成を目的としており、日本の同校舎(校舎)事務室秘書室図書室(図書室)食堂(中庭)バスケットコート、体育館は国営の9区使用しているところがある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 大抵、相対的。学校にプールはあり、全学年の通学は半日、通学は午前9時分まで。校舎(校舎)事務室秘書室図書室(図書室)食堂(中庭)バスケットコート、体育館は国営の9区使用しているところがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 国立体育師範学校の教員(技術の指導に)場合: プールは補助員と担任している。					
② 技術の範囲: 陸上競技全般にわたる理論と実技の指導技術が必要である。実技面は重視され、他種にもある場合: プールは指導法と技術研究を要す。指導言語はほとんどアラビア語と担任と對他種習得者である。					
③ 業務の形態: 配属先の校長と協議の上指導が中心(時間制)にせよ、主に実技面の指導に当る。場合: プールは男子・女子の各地の師範校に巡回指導が中心である。また、アラビア語又は英語による講義を担当している。実技面の理論の指導に当るは、教授及びカウチングと協力に指導に当る。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 男子は高卒、年齢は18~24才位に、小・中学校の体育指導は兼任等、女子は技術水準は低いと思われる。但し、教授、カウチング、外国語経験は、かなり高い水準の高齢者もいる。年齢は23~40位。					
⑤ 現地で利用できる機材: 充分とは言えないが一応必要は揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 今のところ配置されていない。					
⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語(指導言語はほとんどアラビア語と担任と對他種習得者である)。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来、当国の体育指導者養成はほとんど外国留学のみに依拠して、教育省の方針として体育教師養成に力を入れている。この教師養成指導者現は依然として解決が困難で、専門の教員不足は深刻で、教育省副大臣に同じアラビアに在る(日本)SOCA隊員は、大いに期待している。					
更に、日シ両国の親善交流に寄与することと背景のゆえである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) (大卒体育科卒又は教員科卒体育科卒) (教員免許取得者) 陸上競技と最低5~6年経験に、24歳以下である。 更に、明るく礼文的で協調性に富む18歳以上の若年人物。					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59年 9月 5日

## 710 陸上競技

調査者氏名 野野文男 栗林秀幸

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	ATLETISMO	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
陸上競技			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de CULTURA, JUVENTUD y DEPORTES

(日本語): 文化青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION GENERAL de EDUCACION FISICA (日本語名称 (体育スポーツ局))

所在地: サンホセ Y DEPORTES 主要都市からの距離 (〜より キロ)

- ハ. 事業規模及び内容:
1. 青少年の健全育成
  2. 体育スポーツの地方普及支援
  3. 各種競技のレベル向上

ニ. 設備概要: 4. 団体の企画・運営

**(2) 隊員の業務内容:**

① 業務上の地位: 技術部所属指導員

② 技術の専門: トラック、フィールド両部門の指導が可能ならば申し分ないが、  
いづれか一方に特化可。  
トラック (短距離専門が望ましい)  
フィールド (専門は問わない)

③ 業務の形態: 巡回指導型 (地方出張含む)

④ 指導対象: 首都、地方の競技者及びエリート  
スポーツ専門学校 (計画段階) 等、小中学校生徒  
カウンターパート予定者はスポーツ局職員で短距離専門の競技者  
男女(男)

⑤ 機材等: 国立競技場、ナショナルスタジアム、大学等首都には400mトラック用具等  
かなり備わっているが、地方ではサッカーグラウンドを利用する程度

⑥ 本国人: 無

⑦ 言語: 西語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

長距離走にはこれほど競技人口そのレベルもはたかつかぬものがあるが、その他各種目については指導者不足のためにほとんど実施は出来ず、地方普及活動と競技者エリートに対する講習会を通じてレベルの向上を企図している。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

◎ 7年程度の競技歴  
体育大学 (学部) 卒が望ましい  
(学科)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

No. 119229

記入 昭和 59 年 6 月 19 日

調査者氏名 庵子美

720 体操競技

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリ、ランカ	(現地公用語) Gymnastics	新規	(男) 人	59年 月	
	(日本語) ジムナスティック	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: } 不明 アラツラ、フンボの教員養成					
所在地: } 大学の可能性大。					
日本語名称( )					
主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員					
② 技術の範囲: 該当分野での生徒指導技術のみならず教員教育を行う能力					
③ 業務の形態: 教員養成大学学生及び現職教員に対する体育講義及び実習。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不明、有。					
⑤ 現地で利用できる機材: 有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 特になし。					
⑦ 使用する言語: 英語、シンハラ。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大臣プロジェクトで学校教員への体育の取り入れが進められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 教員資格					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

⑥

記入 昭和 59 年 3 月 15 日

700 体操競技

調査者氏名

木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア アラブ 共和 国	(現地公用語) <u>أولمپيا</u> <u>أولمپيا</u> <u>Gymnastics</u> (日本語) <u>体操競技(教員)</u>	新規 交替	(男) <u>2</u> 人 (女) <u>1</u> 人 (男女不問) 人	59年3月 以降 早い時期	

(1) 配属先 Ministry of Education

① 配属先名称(現地公用語): Department of Physical Education

(日本語): 教育省・体育局

② 隊員勤務先名称: Institute of Physical Education for Males (or Females) 日本語名称 (国立体育師範学校)

所在地: ダマスカス・アル・ホラキヤ・ホムス・ハマ・テリゾール 主要都市 (ダマスカス から約 360 キロ)

③ 事業規模及び内容: 男子体育師範学校は1969年、92校に開校され、以来現地に各主要都市に計5校開設されいる。一部女子体育師範学校と併設される。生徒数教員数から施設等は学校に多少の差があるが、概して生徒数60~200名(1年生のみ)に30名(2年生のみ)教員数10~20名事務職員等15~25名、小・中学校等、中級レベルの体育教師の養成を目的としており、日本

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 9短期大学に相当する。学校にプールがある。全寮制の通学舎と通学舎の両方に分れる。校舎(校舎棟、職員舎、自室は分らない)食堂、運動場、体育館は国庫のものを借用している。etc.

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 国立体育師範学校の教員(技術の習得により、場合に依りは補助員になることがある。)

② 技術の範囲: 体操競技全般にわたる理論と実技の指導技術が必要である。実技面が重視される傾向にあるが、場合に依りは身体指掌法の技術研修を要する。床運動も含める。指導言語はほとんどアラビア語となる。

③ 業務の形態: 配属先校舎と協議の上、指導時間(時間割)に依りは実技面の指導となる。場合に依りは男子・女子別の師範学校に巡回指導を行うこともある。更に、アラビア語又は英語に付講義と担当することもある。実技面の理論の指導にわたれば、教授からカウチングと協力を指導する。一応勤務時間は午前8時から午後2時30分まで(昼食は午前事務終了後)しかし、学校に依りは時間帯が異なる。早朝勤務時間外勤務も覚悟しなければならない。なお、夏休み等の次外と長らく教授作成、アラビア語の習得に充てることとなる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 就任高卒年齢は18~24歳位、小・中学校への体育指導は要する。技術水準は低いと思われる。但し、教授からカウチングは外国留学経験と持っており、レベルは高めと思われる。年齢は23~40歳。

⑤ 現地で利用できる機材: 充分にあるが、一部の必要なものには不足している。

⑥ 第3国人等の配置状況: 今のところ配置されていない。

⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語(指導言語はほとんどアラビア語となる。赴任後習得することになる。)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

従来、本国の体育指導者養成は全て外国留学のみに依り、教育省の方針として近年特に体育教員養成に力を入れている。但し、教師と養成する指導者不足は依然として解決されず、専門の教員不足は深刻である。教育省副大臣によれば同じアラビアに位置する(旧)JOCV隊員に大いに期待している。更に日シ両国の親善交流に寄与することの意義が大きいとされている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学体育科卒又は教育系体育系) (教員免許取得者)

体操競技と最低5~6年経験に必要と思われる。  
更に、明確に文化的・協調性の高い、15歳以上の若年人物。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 3 月 1 日

720 体操競技

調査者氏名 表 孝雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) GIMNASIA DE APARATOS	(男) 1 人	訓練開始 58年 10月
	(日本語) 体操	(女) 1 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 59年 1月 受入期限 59年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION FISICA Y DEPORTES  
(日本語): 体育スポーツ局

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )  
所在地: サン・ホセ 主要都市からの距離 ( ) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 競技毎に設立されている協会等を通じてスポーツの普及・発展を担う。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: Asesor Tecnico 技術指導員
- ② 技術の範囲: 体操競技一般
- ③ 業務の形態: 80年に日本政府が寄贈した体操器具一式を用いて  
(A) 85年開催の中米オリンピック参加選手強化  
(B) 指導者への講習会  
(C) 体操愛好者への指導  
(D) 体操普及、バール・アッコへの企画実施が期待されている
- ④ カウンター・パート: 丹野 OG 或田 OB のカウンター・パートがそれぞれ新隊員と併に活動することになり、レベル的には中学校のクラブ程度。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 体操器具一式
- ⑥ 才力: いない
- ⑦ 使用言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 85年開催の中米オリンピックを控え選手強化が急がれている。既に当国には男女二代隊員が派遣され、80年には体操器具一式が寄贈された。さらには今後オリンピック参加選手を強化するために十分な実力を有する指導者はあめられている。指導者への講習会と併せて隊員の派遣が申し込まれた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと):  
前記隊員の経歴に鑑み、クラブを通じて6年以上、インター・ハイに参加経験がある者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1108

720 体操競技

記入 昭和 58 年 10 月 25 日

調査者氏名

花田真人 (印)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Gimnasia de Aparatos (日本語) 器械体操	新規 交替	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 1 人	59 年 2 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Educación y Culto. (日本語): 文部省					
② 隊員勤務先名称: Escuela Superior de Educación Física 日本語名称 (体育専門学校) 所在地: アスンシオン 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 1943 年創立、高卒 3 制の専門学校、生徒数現在 122 名。 1 学年 60 人、2 学年 36 人、3 学年 26 人、教員数 20 名 当国唯一の体育専門学校であり、器械体操器具はセオ (日本製) が完備している。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): フールを除いては、日本の体育専門学校と大差なく、施設用図は備わっており、特に器械体操器具は日本の援助により、利心への規定のものがある (新品)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 体育教師として器械体操の授業を担当する他、クラブを組織し器械体操の指導を行う。現在クラブ活動はなし、技術セロの状態である。					
③ 業務の形態: 授業時間は 曜日から金曜日の 13:30 分 ~ 18:30 分、土曜日は水泳クラブとある。1 時間 40 分単位 (日 7 時間)、生徒は全授業を受けることができるが、各科目の授業時数は週 6 時間、実技は 2 時間通して行われる。クラブ活動は希望者を募り、年中に指導するところがある。(学年 20 ~ 60、8 月 ~ 12 月)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 体操の指導教習はいるが、器械体操の経験は少ない。対象は高卒 (18 ~ 30 才) の学生、男女比 5:5					
⑤ 現地で利用できる機材: 日本製 (セオ) 利心への標準機一式、ロビンソン等					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 専門指導者がいなくて、これが大きな要因であるが、その背景には、派遣中体育隊員 (6 名) による体育のモデル授業、デモンストレーションの影響がある。特に、当校が前年ある指導内容をもっともっとデモンストレーションであったことから、特に体操を指導出来る隊員の要請が出されたため、授業はもとより、クラブ活動への指導にも大きな期待を寄せている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと): O 体育教員免許、大学でのクラブ経験のある者 (6 科目にわたること) 新年でしよ (活動)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月2日

720 体操競技

調査者氏名 若波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Gimnasia	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 器械体操	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Instituto Peruano del Deporte (I.P.D.)

1. 配属先名称 (現地公用語): ~~INSTITUTO NACIONAL DE RECREACION, EDUCACION FISICA Y DEPORTES (INREDE)~~

(日本語): ~~文部省体育庁~~ ペルー体育庁

ロ. 隊員勤務先名称: Federacion Peruana de Gimnasia 日本語名称 (ペルー器械体操連盟)

所在地: Estadio Nacional Pta. 24-A, 2nd Piso, Lima 主要都市からの距離 (  キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本連盟は1947年4月に発足した歴史の古い団体で、全国レベルで2,500名、そのうちの一流選手として160名を数え、体育庁の補助金を受けるとともに、会長の任命を初めその行政監督下に置かれている。

ニ. 設備概要: 国立競技場内に連盟独自の練習場兼大会会場を有し、機材は昨年度の日本よりの文化無償による供与を受け完備している。

(2) 隊員の業務内容:

本連盟は過去40年にわたって国際交流基金の派遣した門脇隆二の指導を受けた経験を有し、同氏の尽力もあり、近年漸く国際大会にナショナルチームを送るところまでそのレベルの向上をみている。然しながら良き指導者の下での一層の強化充実の必要性は痛感されるところで、この意味からも隊員の活躍が是非とも望まれる分野である。

1. 隊員は体育庁所属、連盟付技術顧問兼コーチという地位が与えられる。
2. 主たる業務内容は、ペルー人指導者層の育成・指導と、ナショナルチームの指導ということ。当面は門脇氏の後継的存在になると考えられる。
3. カウンタートとしては、体育学専攻の7名のペルー人コーチが予定されており、彼等はキーンバおよびリ連において修士課程を修めている。
4. 現地で利用可能な機材は、既述のとおり。
5. 若くは日本人及び日米専門家の配置なし。
6. 使用言語はスペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

門脇氏の指導の下に将来を期待される有望選手が育ってきており、伝統ある日本の器械体操技術を生かして、国際的人材を生み出し、もって国民の理解の向上と、愛好者の増加を図って、本スポーツの健全な発展と、青年の身体強化を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 本邦における代表的チームの指導経験 3年以上を有すること
2. 大学卒以上の学歴 (体育学専攻) を有すること



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 9 月 5 日

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) NADO SINCRONIZADO	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) シンクロナイズドスイミング	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
<b>(1) 配属先</b>			
1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de CULTURA, JUVENTUD y DEPORTES			
(日本語): 文化青年スポーツ省			
ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION GENERAL de EDUCACION FISICA 日本語名称 (体育スポーツ局)			
所在地: サンホセ Y DEPORTES 主要都市からの距離 (より〜キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 1. 青年の健全育成 2. 体育スポーツの地方普及支援 3. 各種競技のレベル向上			
ニ. 設備概要: 4. 団体の企画運営			
<b>(2) 隊員の業務内容:</b>			
① 業務上の地位: 技術部所属指導員			
② 技術の範囲: 全般的技術 中央以下大会等の国際大会に参加可能な程度までに指導すること。			
③ 業務の形態: 現場指導型			
④ 対象者: コスタリカ大学(約20名), ナショナル大学(人数未定)の学生中心に指導する。 カウンターパート予定者は コスタリカ大学講師(女性、25才前後)を 1977~80年に JOCV 隊員として指導を受けた後、Xキジコ他での講習会参加を経験した。			
⑤ 機材他: 音楽機器 70-11は首都の近郊にある。			
⑥ 本国人: 無			
⑦ 言語: 西語			
<b>(3) 受入希望の背景と受入国の期待:</b>			
1979年にシンクロナイズドスイミング協会の設立されたため、指導者は上記講師1名のみのために競技技術の拡大、技術力の向上の両目標とも満足いく結果が得られたい。継続的な協力を期待されている。			
<b>(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):</b>			
上記 ②-④の技術以外特になし。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

モル3

記入 昭和 59 年 9 月 10 日

741 卓 球

調査者氏名 山本 昭夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モルディブ	(現地公用語) TABLE TENNIS	XXXXX	(男) 01 人	60 年 7 月	
	(日本語) 卓 球	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: MINISTRY OF EDUCATION 日本語名称( )					
所在地: MALE, MALDIVES 主要都市(マレー)から キロ					
③ 事業規模及び内容: マレーにおけるアミニア, マジリア公立学校, 私立学校, ユースクラブと対象として体育振興に努めている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 卓球コーチ (体育指導員)					
② 技術の範囲: 卓球指導に関する一般的技術					
③ 業務の形態: モルディブにおいて卓球はマカントススポーツの1つにあげられ、学校の課外授業, ユースクラブ, サークル活動として楽しんでいる。教育省に籍を置き、日程スケジュールを作成, それに基づいて、時間を決め、活動を行う。年に1度の全国大会, それにともなう予選などの開催にも参加する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 特になし					
⑤ 現地で利用できる機材: 十分とは云えないが、活動は行なえるだけとっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語, テレビヒ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
モルディブは国土が狭いので、場所をとりやすい卓球・バドミントンなどは格好のスポーツである。しかし、その指導者は少なく、又本格的な指導はされておらず、今後のスポーツ発展に大きな期待が寄せられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
卓球指導経験 3年以上, 教員資格保有者尚可。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

7010

741 卓 球

記入 昭和 59 年 12 月 20 日

調査者氏名 リマ 事務所

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ペルー	(現地公用語) Tenis de Mesa (日本語) 卓 球	新規 <b>交替</b>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Peruano del Deporte (I.P.D.) (日本語): ペルー 体育庁					
② 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Tenis de Mesa 日本語名称(ペルー卓球連盟) 所在地: Estadio Nacional Pta. 10A. Piso L Lima 主要都市(リマ市内)から 北					
③ 事業規模及び内容: リマの国立競技場内に連盟本部を構え、コウラ、トルヒーリス、チラーヨ市等に地方連盟(Liga)を有する。国内、国際大会の企画、運営及び加盟 Liga やクラブの指導、並に学校等への普及活動を行っているが、予算、人員不足等のため思うような活動はなし得て					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 中心となる連盟の練習場は国立競技場内にあるが、観客席の下部空間を利用しに所にある為、狭くて(卓球台6~7台と一杯)暗い。なお、大抵クラブは夫々の独自の練習場を持つ。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 連盟所属のコーチ					
② 技術の範囲: 卓球全般の実地指導、及び普及用西文マニュアル作り等					
③ 業務の形態: (1) 学校又はクラブにおいて6、7才から14、15才までの子供達と指導、(2) 地方連盟に対し、地方の選手やコーチ(レベルは初級から中級)を指導、(3) 連盟本部で選抜チームの選手を指導、上記3つの業務形態の中から、隊員の技術レベル、隊員着任時の連盟の状況及び方針等を勘案して選抜決定することになるが、任期中に複数の業務を担う可能性が大い。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 選抜チームの選手には大學生が多いが、水準は関東学生二部程度。相手のカウンターパートはいないが、ペルー人コーチ(選手としての)					
⑥ 現地で利用できる機材: 卓球台、ネット、カポット、中国製ボール、但し、ラバー、ラケット、シューズ、ユニフォーム、ソックス、ジャージ等は殆どない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 中国人コーチ3名(男)、主にナショナルチームの指導、育成を担う					
⑦ 使用する言語: スペイン語 (任期 '83.6 ~ '85.6 予定)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国際試合で良い成績を挙げたいという意欲は強く、従って卓球先進国である中国や日本から技術、知識を取入れたいという期待は高いが、単にコーチを招き入れれば済むのは、後はコーチがうまくやってくると云って安易な面を感じる。(58/1次 田中敏彦隊員交替)					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
1. 関東学生二部程度以上の技術、2. 現役としてペルー選手と互角に戦い合う気概と体力を持つ者、3. 世界の卓球界の動向をよく把握しておくこと					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

28

記入 昭和 59 年 9 月 15 日

743 バレーボール

調査者氏名 佐子 実

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Volley ball	新規	(男) 3 人	60 年 8 月	
	(日本語) バレーボール	交替	(女) 2 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment  
(日本語): 青年雇用 問題省
- ② 隊員勤務先名称: N.Y.S.C. 日本語名称 (国家青年奉仕評議会)  
所在地: ハヤントワ、ベルウッド、ニラウリ、エビニヤ 主要都市 ( ) から キロ
- ③ 事業規模及び内容:
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教育
- ② 技術の範囲: バレーボール、コーチ及びマネージャーとしての業務等。
- ③ 業務の形態: ハヤントワ (男女各1) ベルウッド 女、ニラウリ 男、エビニヤ 男の各 N.Y.S.C. センターに配属され、訓練生男女にバレーボールをコーチする。各センター同志又他団体との競技の計画、運営にもあたる。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 40才男等 不明、現 N.Y.S.C. バレーボールチーム 男女の監督
- ⑤ 現地で利用できる機材: 隊員の配属に伴ない新規調達。資金有。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 現 N.Y.S.C. バレーボールチーム 男女のコーチ 隊員小玉。
- ⑦ 使用する言語: 英語、シンハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: クリケットが唯一のスポーツとして来たスリランカで、地方レベルまでバレーボールを普及し始めている。今般 N.Y.S.C. から計 6 名、教育面から 5 名の要請を受けており、存心なみならぬ受入の期待がうかがえる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
バレーボール、コーチ

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

NO.112 NO.115  
NO.113 NO.116  
NO.114 730

記入 昭和 59 年 10 月 19 日

743 バレーボール

調査者氏名 卷子 美

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Volley ball	新規	(男) 人	59年 月	
	(日本語) バレーボール	交替	(女) 人 (男女不問) 3人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: } 不明 いざみせ学校  
所在地: } 日本語名称( )  
主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容:

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 教員

② 技術の範囲: 該当分野における生徒指導技術のみならず、教員教育を  
実施する能力

③ 業務の形態: 現任教員に対する ON THE JOB TRAINING 及び休暇中  
の集中実技講習 及び生徒指導

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不明。有。

⑤ 現地で利用できる機材: 有。

⑥ 第3国人等の配置状況: 教育省内には多数の VSO, P.C. 及び専門家(含日本)

⑦ 使用する言語: 英語、シンハラ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 文臣プロジェクトで学校教育への体育取  
入りが進められている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

教員資格

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

モル

記入 昭和 59 年 9 月 10 日

743 バレーボール

調査者氏名 山本 昭夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モルディブ	(現地公用語) VOLLEYBALL	新規	(男) 01 人	60年 7月	
	(日本語) バレーボール	<del>新規</del>	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: MINISTRY OF EDUCATION 日本語名称(教育省)					
所在地: MALE, REP. MALDIVES 主要都市(マレー)から キロ					
③ 事業規模及び内容: モルディブ国内において アミニア・マジリア公立校を中心とした私立学校, ユースクラブなどに指導と実施する。又、各地方アトールにおいても大会毎に指導をいく。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: バレーボールコーチ(体育指導教官)					
② 技術の範囲: バレーに関する初歩から全般的な広範な技術。					
③ 業務の形態: 教育省の担当者と日程・スケジュールを作成し、これに基づき、8時から18時の学生、ユースクラブを対象に活動を実施する。また、学校対抗、アトール対抗バレーボール大会の運営にも加わることになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特になし					
⑤ 現地で利用できる機材: バルコネット etc.					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語 デヒヒ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
モルディブにおけるバレーボールの普及は未だ低い。最近に行なわれた教育におけるスポーツの重要性が注目され、その中で、このボールを多くの人が同時に楽しめるスポーツとして、大いに力を入れている。又、人の住んでいない島には必ずと言って良々程、ココナツの木にロープを渡したバレーコートがあり潜在人口は多い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
バレーボール指導経験 3年以上 教員資格保有者尚可					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

シ 4

記入 昭和 59 年 3 月 15 日

①⑤

743 バレーボール

調査者氏名

木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア アラブ共和国	(現地公用語) ムアムラ アムコラ パエラ Valleyball (日本語) バレーボール(教員)	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年3月 以降・早・時期に	
(1) 配属先 Ministry of Education					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Physical Education (日本語): 教育省・体育局					
② 隊員勤務先名称: Institute of Physical Education for Males (or Females) 日本語名称(国立体育師範学校) 所在地: ダラス・アムコラ・ムアムラ・ムラ・アムコラ 主要都市(ダラス)から約160キロ					
③ 事業規模及び内容: 男子体育師範学校は1969年に設立され、以来、現地に各主要都市に計5校開設されている。一校 女子体育師範学校と併設されている。生徒数教員数も施設も学校により多少の差があるが、生徒数60~700名 (1校の平均値)である。2年制(含む)教員数10~20名、専任職員15~25名、小・中学校の中級レベルの体育教師の養成を目的					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 2180リ、日本式に相当する。学校に十分な数の全室制のバスと通学バスと通学バスがある。 校舎1(校長室・事務室・職員室・図書室・多目的室)等、食堂・運動場(バスケット・バレー・テニス等)体育館(国産)も併設されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 国立体育師範学校の教員(技能の程度に別、場合によっては補助員に任じられる)					
② 技術の範囲: バレーボールの理論・実技・指導の経験が1年以上ある。可能であれば、バレーボール 球技全般にわたる知識及び理論・指導の経験が望ましい。実技の重視は指導言語はアラビア語					
③ 業務の形態: 配属先の校長室と協議の上指導科(時間割)に任じられ、実技指導の指導に当たる。 場合によっては男子・女子、各地師範学校に巡回指導に任じられる。更にアラビア語又は英語に おける講義を担当することもある。実技及び理論の指導に当たっては教授及びカウンターパートと協力に指導に当たる。 一応勤務時間は午前8時から午後2時30分(昼食は1時間の業務終了後)。しかし、学校によっては存続第一 の考えがあり、早朝勤務や時間外勤務が覚悟を要する可能性がある。なお、野外作業は校外作業の校外作業 教授作成、アラビア語の習得等に充てることになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 男性は高卒、年齢は18~24歳位、小・中学校の体育指導に 関する美しい技術水準は低いと思われる。但し教授のレベルは外国語経験と経験が豊富で、水準は高いと思われる。23~40歳					
⑤ 現地で利用できる機材: 充分な数はないが一応必要はありは揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 今のところ配置されていない。					
⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語(指導言語はほとんどのアラビア語と場合により英語も併用される)。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来、当国の体育指導者養成はほとんど外国留学のみであった。近年 省の方針として体育指導者養成に力を入れているが、その教師と養成指導者不足は依然として解決されず、要員の 教員不足は深刻である。教育省副大臣によれば、同じアラビアに位置する(日本)JOCU隊に大いに期待している。理由 更には、日シ両国の親善交流に寄与することもある。背景の一つである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学卒) (バレーボールのコーチングや他に入隊者) 大学の部活動を含むバレーボール経験 と最低5~6年経験に2.5が望ましい。 更に明確に記述の上、協議の場、自身も十分に努力する。					
※ 事務局記入					

記入 昭和 58 年 7 月 25 日

743 バレーボール 調査者氏名 木内 志郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	資格者名※
SYRIA A.R. (シリア)	(現地公用語) Volleyball (Coach) (日本語) バレーボール(コーチ/トレーナー)	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	59年7月	
(1) 配属先					
1. 配属先名称(現地公用語): General Sports Federation, SYRIA A.R. (日本語): シリアアラブ共和国 スポーツ連盟					
2. 隊員勤務先名称: 同上 及び 各地支隊 日本語名称(スポーツ連盟本部及び各地支隊)					
所在地: ダマスカス、ホムス、ラタキヤ、アレッポ、クナミネ 主要都市( )から キロ					
3. 事業規模及び内容: シリアスポーツ連盟には、各種競技運営事務局と18の各スポーツ別高度専門技術委員会及び各地別専門技術委員会(支隊)があり、シリア国内の各種スポーツ選手を育成し、シリア大会を開催、アラブ地区、アジア大会、オリンピック参加等、係属諸業務を行っている。					
4. 設備概要(写真添付が望ましい): 首都ダマスカス及び主要地方都市には、競技会場、体育館等が建設されている。The Sports Construction in the SYRIA A.R. と参照願。たい。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: スポーツ連盟(バレーボール高度専門技術委員会)専属コーチ/トレーナーとなる。					
② 技術の範囲: 下は中級からシリアのバレーボール全般的(理論及び実技)の指導、訓練計画立案、及び実技指導が主要業務となる。その他同連盟の計画する各種行事(トーナメント大会等)の運営に対する助言も含まれる。					
③ 業務の形態: (A) コーチ/トレーナーとしての経験、能力に よる 要る。(若方担当者該当) (B) 夏季は朝夕各1~3時間、冬季は夕方2時間程度(選手が他の仕事を終えているため) (C) 主にシリア代表チームを対象にシリア人コーチ等と共に指導、訓練計画を作成し、これに基づき実技等の指導を行う。また、各地支隊の支隊に2~3ヶ月間住居し、同じく実技等の指導を行う。更に、中学、高校、大学等における指導も依頼される可能性がある。					
4. 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ナショナルチームは平均年齢23~24才程度、高年次以上、その他選手は12才~40才程度(中学から大学、社会人等)。カウンターパートは多数居り、20才~40才程度、高年次以上。					
5. 現地で利用できる機材: ない。今年5月下旬から6月中旬にかけて、国際バレーボール連盟から日本人コーチ(基本的な機材は) 名城大学理学部、亀山 敏美 助教授(国際バレーボール公認コーチ)の派遣され、コーチ研修会が開催された。この結果、グレート19コーチ7名、グレート29コーチが5名誕生した。従って技術水準は高くなる見込み。					
6. 第3国人等の配置状況: (今年中に1年程度、中国の4) が5名誕生した。従って技術水準は高くなる見込み。					
7. 使用する言語: 英語、アラビア語、が主					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(A) スポーツを通じた日本人との友好・親善に後進したい。					
(B) 日本はアジア圏及び世界的にもスポーツ分野において評価が高い。					
(C) 日本人コーチの Loyalty と 日常の業務を通じて世界を知らせたい。					
(D) シリアの同業種スポーツの技能を向上せしめたい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
◎ 大学体育学部卒又は教育学部体育系卒、◎ コーチあるいはトレーナーとしての経験と有ること。(大学2年選手以上の経験と有ること。大学2年選手以上の経験を含む)					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

743 バレーボール

記入昭和 59年 8月 27日

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) VOLIBOL	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) バレーボール	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTES

(日本語): 文化青年スポーツ庁

ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION GENERAL de EDUCACION FISICA Y DEPORTES

日本語名称 (体育スポーツ局)

所在地: サンホセ

FISICA Y DEPORTES

主要都市からの距離 (〜より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1. 青少年の健全育成

2. 体育スポーツの地方普及・支援

3. 各種競技のレベル向上

ニ. 設備概要: 4. 団体の企画運営

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 技術部所属指導員

② 技術の範囲: 実技全般

首都には社会人リーグ (男女とも 1, 2, 3 部) があり、1 部リーグの技術水準は本邦のインターハイ大会出場チーム (中位から上位の下) に相当する。

③ 業務の形態: ※ 巡回指導型

地方での初歩的普及活動から首都での指導者講習会まで多岐に渡る。

特定のチームを専任コーチするか否かについては着任後の協議により決定する。

④ 対象者: 小学生から社会人まで

特定のカウンセラー・レポートは任命されない。各チームのコーチ兼スポーツ局職員が適宜その任に当たる。

⑤ 機材: 概ね揃っている。

⑥ 母国語: 無 ⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

近年バレーボールに対する関心が高みに高まってきたが、指導者は首都付近に偏在しており、またその指導技術は適正とはいえず、難い部分がある。大型選手が少いことから日本型バレーボール技術の修得を目指している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高校、大学等を通じて 7 年程度の選手経験

指導経験があれば申し付け

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

752 レスリング

記入昭和 57年 7月 26日

調査者氏名 高橋 臣夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Lucha Amateur	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) レスリング	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

### (1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Peruano del Deporte (I.P.D.)  
(日本語): 体育庁
- ロ. 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Lucha Amateur (日本語名称: ペルーアマチュアレスリング連盟)  
所在地: Estadio Nacional, Puerta 29 3° Piso, Lima (主要都市からの距離: 約 10km)
- ハ. 事業規模及び内容: 現在のところその活動はリマ地区に限られており地方には余り普及していない。少年(10~16才)40名、ジュニア(17~20才)30名、一般(20才以上)18名の選手を擁し、毎月1回の定期試合及び年4回程度の国際試合等に参加している。
- ニ. 設備概要: (の備) 国立競技場内に連盟事務所及び練習場を有し、9m x 9mのマット(フランス製)を設置しているが設備は貧弱である。

### (2) 隊員の業務内容:

- イ. 業務上の地位: 連盟所属のコーチとして他のペルー人コーチとともに選手の指導にあたる。
- ロ. 技術の範囲: 出来ればグレコローマン及びフリースタイルの両方を指導出来ることが望ましい。また連盟内に専門的なトレーナーがいるため、その分野の知識経験があれば尚良し。選手に対する直接指導の他、ペルー人コーチのレベルアップも期待されている。
- ハ. 業務の形態: 練習時間は毎日午後3時から9時半まで(月~金)であり、この間連盟の練習場に於いて勤務することになる。また連盟側としては優秀な選手を発掘するためにも地方への普及を促進したいとしており、地方に於ける講習会や講師として参加することも有り得る。
- ニ. カウンターパート: ペルー人コーチ 3名
- ホ. 外国の協力等: (1) 過去教団アメリカ合衆国の援助でペルー人コーチ及び選手をアメリカで行われる講習会に派遣した実績がある。  
(2) 1979年に半年間ハンガリー人コーチが指導していたことがあるが現在は無し。(O.E.A. 未州検権が派遣)
- ヘ. 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国におけるレスリングの技術は選手層が薄く、一般的に見て余り高くないが、年令の低いカテゴリーではパンアメリカン大会等で優秀な成績を挙げる選手もあり、コーチの指導如何によってはそのレベルを更に向上させることが可能と考えられている。この為、ペルー側としては体系的なコーチング技術を導入することにあり、優秀な選手を育成したいとしており、隊員に対する期待は高い。

### (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学体育学部系卒業生
- ② 高校及び大学を通じてクラブでの競技歴を有すること
- ③ 競技歴の他に2年以上の指導歴を有することが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 17 日

761 柔 道

調査者氏名 表伸一郎

9/6

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Judo	(男) 1 人	訓練開始 1981 年 10 月
	(日本語) 770 柔道	(女) 人	派遣予定 1982 年 4 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 遠藤好彦の交番

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Judo X Karate Federation  
(日本語): バングラデシュ柔道空手協会

ロ. 隊員勤務先名称: ঢাকা স্টাডিয়াম 日本語名称 ( )  
所在地: Room 16, Dacca Stadium, Dacca 主要都市からの距離 ( ) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 体協傘下 14 の 1 として、柔道場を持ち、毎日夕刻柔道、空手各種実演を通じての両方で約 20~30% 程度。費用一切の 2/3 は "の 2" 電話もたくボランティア運営。

ニ. 設備概要: 体協建物の一角を道場とし、一部日本寄贈の道着 20 着が他は当国製。

(2) 隊員の業務内容: 当道場は、体協の傘下として、全くボランティアの人々により運営されている。以前国際交流基金より講道館講道館 5 段が 1 年間派遣されてきた実績を持つ。又、何回か短期指導は 4-4 か 1 週間に 2 回している。

日本研修や試合のため、訪日、講道館に 2 指導を受けたい者が数名あり、初段、未決定 2 段がいる。

業務形態: 道場稽古として道場 1-2 指導、内弟は一般警察官昇格を通じてくる。一部女子もいる。時刻 4:00~7:00 位。

技術範囲: 日本人高段者は指導を得ているが 2 礼儀等は正しい。実力は初段程度。

カンパ-ポート: 事務局長は初段。

核材: 道着は当地で作製。

外国人: 当協会にはいない。他協会 2-4 名は韓国人、中国人等短期 2-4 かいる場合もある。又、民間の金持ちの道場もある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
柔道を通じて日本の礼節等も学びたいとしている。年 1 回の大会には大使も出席し、日バの友好にも役立っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
4 段

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年1月31日

770 柔 道

調査者氏名 柳 井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
チュニジア	(現地公用語) Maitre de Judo	(男) 1人	訓練開始 1980年4月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 1980年8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): 青年スポーツ省

(日本語): Ministère de la Jeunesse et des Sports

2. 隊員勤務先名称: Fédération Tunisienne de Judo (日本語名称: チュニジア柔道連盟)

所在地: 31, Rue Kamel Ataturk, Tunis (主要都市からの距離: 市内 キロ)

3. 事業規模及び内容: チュニジア本部、そしてチュニジア国内に6か所の支部を持つチュニジア人に対し柔道の普及拡大を計っている。

4. 設備概要: タタミ100畳位の練習場がある(チュニジア)がタタミは古く、建物も古い。新しい道場は計画中である。この点については別途説明がある。

(2) 隊員の業務内容:

チュニジアの柔道は約10年前から明大OBの柔道指導者によって開始され、以来、約10年による指導者から昭和51年3月に協力隊員に引継がれ、根本隊員、阿部隊員、萩野隊員とすべし三代、4年間にわたって指導が行われてきた。萩野隊員の滞国(55年2月)に当って交代者として退任者の2名について申請が出されたことである。萩野隊員の交代者は、チュニジア柔道ナショナル4-6の技術指導者としてナショナル4-6選手の育成に当る。追加1名の者はナショナル4-6の支部(総括スファックス支部とす)の専任技術指導者としてこの地域の選手を育成に当る。チュニジアのナショナル4-6の選手は学生、軍人、社会人から構成され、年齢は17歳~25歳であり、毎週月水金の夕方に柔道連盟道場において1時間半~2時間半の間に練習が行われてきた。特定の時期、新年の復休期間、には強化合宿を1週間か10日間実施することもある。チュニジアでは柔道の人気が高まってきており、小学校低学年から20歳以上まで、各種クラブに参加して練習に励んでいる。この中から優秀な人材を選抜してナショナル4-6の選手とする。1979年4月にユゴスラビアで行われた地中海オリムピック(15か国参加)においてチュニジア4-6は金銅メダル3つを獲得している。練習プログラム、合宿プログラム、海外遠征日程等について協力隊員の意見が尊重され、遠征に参加する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: チュニジア柔道は当初から日本式(Ecole japonaise)で行われてきた。10年以上も経過後にレベルは上がりつつある。1980年モスクワオリンピックへの参加は状況が流動的であるが、チュニジア政府としては日本人柔道家による継続指導を熱望しており、地元指導者を拡大する意味で今回の2名の申請は好むところである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 柔道5段(チュニジア)、4段(スファックス)以上の有段者なこと。チュニジア人は体格が良く、大きい体格の者が望ましい。フランス語をしっかりと話せること。アラブの厳しい人間関係に対応して行ける人間的に強い人物。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月11日

761 柔道

調査者氏名 表孝丸

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) JUDO	(男) 1人	訓練開始 56年4月
	(日本語) 柔道	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年7月 受入期限 年月日に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION FISICA Y DEPORTES  
(日本語): 体育スポーツ局

2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )  
所在地: サホセ 主要都市からの距離 ( ) 以上 ( ) 以下

3. 事業規模及び内容: 体育スポーツを司り、各分野の協会を通じて、1. 青少年の健全育成 2. 体育スポーツの普及及び振興等を行う。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 指導員
2. 技術の範囲: 初級 中級 上級の三つから成るコースで柔道の指導を行ない、上級クラスで初段程度。又指導者層への指導の他、学校への普及、柔道大会企画を行う。
3. 業務の形態: 現場型。各地に散在する道場を巡回するがサホセ中心の活動となる。
4. 対象者、カウンターパートの技術水準: 初心者から初段程度迄
5. 利用可能な器材: 体育館 所無道場 約50畳
6. 母国語: いない
7. 使用言葉: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 既に三代続いたプロジェクトであり、若者が満気帰国をしたため、停滞気味である。柔道協会からも協力要請があがっており、活動が、特にレベルアップが期待され、そのための一環として指導者への柔道指導、大会企画が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 三段以上 (他: 現役)
- 又企画力のある者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月2日

761 柔 道

調査者氏名 岩波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Judo	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

- (1) 配属先 Instituto Peruano del Deporte (I.P.D.)
- イ. 配属先名称 (現地公用語) ~~INSTITUTO NACIONAL DE RECREACION, EDUCACION FISICA Y DEPORTES (INAREB)~~  
 (日本語): ペルー体育庁
- ロ. 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Judo 日本語名称 (ペルー柔道連盟)  
 所在地: Estadio Nacional, Pta. 23, 1º Piso, Lima 主要都市からの距離 ( ± 50 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 本連盟は 1977年9月に設立された全国組織で、体育庁の監督下に置かれ、助成金を受けるとともに会長の任命権を握られている。会員は全国で4000名、リマのみで1500名を数え、うち黒帯有段者230名をよしている。
- ニ. 設備概要: 連盟独自の道場を国立競技場内に有し、一通りの設備をそなえている。

- (2) 隊員の業務内容:
- 本連盟は、過去数年にわたり、私契約によって本邦より招へいされた伊藤5段の指導を受けてきているが、連盟の活動も広範・多岐にわたってきており、今後の一層の活動内容の充実のため、伊藤5段1人では手の足りない面へのテコ入れとして隊員の活躍が望まれている。
1. 隊員の業務上の地位は、体育庁所属の連盟技術顧問 兼 コーチ。
  2. 業務の主たる内容は、ナショナルチームを初めとする主要チームの指導、有段者グループの指導者養成等、有力な地方団体への巡回出張指導。
  3. カウンターパートとしては、連盟のペルー人指導者2名(3段および4段)。
  4. 使用言語はスペイン語。

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: <sup>当国における</sup> 柔道の普及は近年とみに著しいものがあり、各種国際大会にも代表を送っている一方、ナショナルチームの他にもその pre-selection グループ、地方団体、年代別代表チーム等、その活動の幅は広く、従って良き指導者の不足に直面している現状で、今後のスポーツとしての柔道のより健全な発展を求めて、技術のみならず精神面にも重きを置いた指導の定着が期待されている。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 4段以上の有段者
  - ② 団体での指導者経験 数年

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

バ17

記入 昭和 59年 9月 21日

762 空 手

調査者氏名 佐々木 健一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Karate	新規	(男) 1人	60年 8月	
	(日本語) 762 空手	(交) 替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 <u>野中の後任</u>					
① 配属先名称(現地公用語): <u>Bangladesh Judo and Karate Federation (BJKF)</u> (日本語): <u>バングラデシュ柔道・空手協会</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>日本語名称( )</u> 所在地: <u>Dhaka</u> 主要都市(ダッカ市内)から <u>キロ</u>					
③ 事業規模及び内容: <u>柔道・空手愛好家による全国組織。運営は民間会館によって自主的に行なわれており事業規模は小さい。日常の練習その他に年1回全国大会も実施している。本国唯一の柔道・空手の統一組織である。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>練習場(約60m<sup>2</sup>)</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>空手コーチ</u>					
② 技術の範囲: <u>空手に関する知識・技術面々全て。</u>					
③ 業務の形態: <u>朝と夕方一日二回、トレーニングセンターで練習の指導に当る。練習生20名前後、年令15~25才程度。一般社会人を中心に学生等が含まれる。コーチ及び審判の養成に当ると共に、全国大会ではその企画、運営にも参加する。</u>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: <u>訓練生は全て初心者。</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>練習場以外持になし。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし</u>					
⑦ 使用する言語: <u>ベンガル語。</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>本国における空手勢は年々高くなっており、適切な指導者がおらず、多くは小さな街道場等での思い思いの練習をしている状態である。BJKFは全国組織として活動しているが、規模も小さく運営も苦しい。指導者として初代空手隊員が入って技術、組織面でレベルアップを図っているが、今後共協力隊の支援なしでは発展しえない状況にある。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>空手3段以上。○(空手の指導経験)</u>					
※ 事務局記入 <u>510</u>					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 8 月 23 日

調査者氏名 只津辰也

762 空 手

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Karate Instructor	新規	(男) 1 人	59年 7 月	
	(日本語) 空 手	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Police Head quarters, Home Ministry  
(日本語): 内務省、警察本部
- ② 隊員勤務先名称: Central Police Training Center (日本語名称 (中央警察訓練所))  
所在地: カトマंडウ 主要都市 ( ) から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 新規、並びに現職警察官に対する指導

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): トレーニングセンターのグラウンドを使用  
尚デイルドラ殿下に対して指導する場合はボリスクラブの柔道場

- (2) 隊員の業務内容 空手指導教官 (coach)
- ① 隊員の業務上の地位: 空手指導教官 (coach)
- ② 技術の範囲: 空手指導が主、その他柔術、護身術の要素を入れた演武指導 (通常訓練) (警察主催の行事等で披露する)
- ③ 業務の形態: 午前二時間 午後二時間の稽古、トレーニングセンターのグラウンド使用  
他に国王誕生日の演武 (集団) を一月間 (ある年とない年がある)  
女王誕生日の演武 (集団) を三月間集中練習する。  
又 週三回朝 (日・水・金) ボリスクラブにおいてデイルドラ殿下に対して指導を行う。(これも又、ある日とない日がある)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者約50名の中、有段者13名 (1名 参段 3名 2段 他初段) カウンターパートのデイルドラ、マール、ツルスタ (参段、33歳) は1979年に日本へ

⑤ 現地で利用できる機材: 研修に行っている、主に初心者の指導はネパールインストラクターが行い  
鍛錬具 (サボバグ、キックミット、専製胴等) (有段者)。隊員はインストラクターの養成に重点をおいた指導をする。

⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員: 柔道 1名 (ボリスクラブ)、跆拳道: 韓国人指導員 1名

⑦ 使用する言語: ネパール語 (トレーニングセンター)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
ネパール警察への協力隊 空手チームは現在まで4代 (自分を含めて) (黒部知彦 49/1985/08、西條早信 59/1986/08、藤上寛三 59/1986/08、只津辰也 59/1986/08) にわかっており、ネパール側にも有段者は育つことが出来た。今度の訓練所へ空手訓練を普及させるために、並びに初級指導員を養成すべく、引き続き隊員を請がせられた。空手の訓練を通し、警察官の態度、資質の向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
・ 和道会空手四段、(4代にわたり和道会であるため、技術の統一の観点から) 絶対条件に非ず

※ 事務局記入